

PESSARY FOR TREATING PROLAPSE OF UTERUS

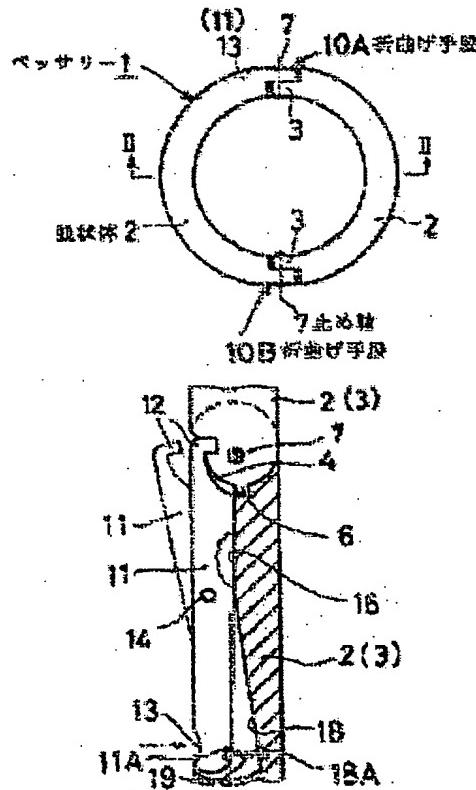
(12)

Publication number: JP6133996
Publication date: 1994-05-17
Inventor: FUJISHIRO TAKU
Applicant: FUJISHIRO TAKU
Classification:
 - International: A61F6/06; A61F6/00; (IPC1-7): A61F6/06
 - European:
Application number: JP19920309532 19921023
Priority number(s): JP19920309532 19921023

Report a data error here**Abstract of JP6133996**

PURPOSE: To enable an annular pessary for treating the prolapse of the uterus to be inserted into the genitalia while being bent and reduced in transverse outside diameter and to facilitate insertion of the pessary by providing the pessary with bending means by which the pessary can be recoverably bent.

CONSTITUTION: A pessary 1 comprises two semicircular arcs 2 connected together in such a manner as to be bendable using bending means 10 (10A, 10B). Each of the arcs 2 is made from a synthetic resin with appropriate rigidity or metal, and each of the bending means 10 is formed by interlocking stepped levels provided at both end portions 3 of each of the arcs 2 and by pivotally supporting the interlocked portion by means of a stopping shaft 7. One of the bending means 10A is provided with a control lever 11 for locking the pessary 1 in an expanded (circular) state, and the control lever 11 rolls around the shaft 14 under energizing of a spring 19 and a locking portion 12 provided at the end of the lever is engaged in a locking groove so that the lever is locked.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-133996

(43)公開日 平成6年(1994)5月17日

(51)Int.Cl.⁵

A 61 F 6/06

識別記号

序内整理番号

F I

技術表示箇所

7108-4C

A 61 F 5/46

審査請求 有 請求項の数1(全3頁)

(21)出願番号

特願平4-309532

(22)出願日

平成4年(1992)10月23日

(71)出願人 592239785

藤城 阜

静岡県浜松市大瀬町2457

(72)発明者 592239785

静岡県浜松市大瀬町2457

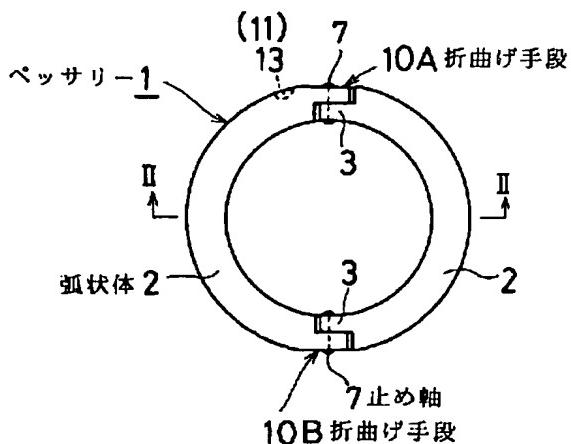
(74)代理人 弁理士 岡田 英彦 (外2名)

(54)【発明の名称】 子宮脱治療用のペッサリー

(57)【要約】

【目的】 外陰部に挿入し易くかつ體内に挿入後はその機能を充分に発揮させ得る、子宮脱治療用のペッサリーを提供すること。

【構成】 子宮脱治療用の環状形のペッサリーであつて、前記環状形に復元可能に折曲げ得る折曲げ手段が設けられてなることを特徴とする。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 子宮脱治療用の環状形のペッサリーであつて、前記環状形に復元可能に折曲げ得る折曲げ手段が設けられてなることを特徴としたペッサリー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は子宮脱治療用のペッサリーの改良に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、高齢婦人における子宮脱疾患の保存療法（手術しない治療法）には環状のペッサリーが使用されている。ペッサリーは数種類のサイズが用意されていて、サイズの合うものが用いられる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、ペッサリーは治療者の外陰部より腹部に挿入する際、大変挿入しにくい問題がある。すなわち、外陰部より腹径の方が大きいことより、外陰部よりやや大きめのサイズのペッサリーを使用しなければならず、また、解剖学的に外陰部がたて長のため、挿入の際に痛みをともなうこととなる。そこで、本発明の課題は従来のペッサリーにおける前記した不都合な問題点を解消せんとしたものであつて、挿入し易くかつ挿入後はその機能を充分に発揮し得る子宮脱治療用のペッサリーを提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】 上記した課題を達成するために、本発明の手段は、子宮脱治療用の環状形のペッサリーであつて、前記環状形に復元可能に折曲げ得る折曲げ手段が設けられてなることを特徴とする。

【0005】

【作用】 ペッサリーを外陰に挿入する際は折曲げて外径幅を小さくする。折曲げたペッサリーは外陰通過に都合がよい。腹内挿入後は折曲げたペッサリーを所定の環状形に戻す。環状形のペッサリーは腹内において子宮を押付け状に配置される。

【0006】

【実施例】 次に、本発明の一実施例を図面に基づいて説明する。図1に示すように、本例のペッサリー1は環状形をなし、直径方向の二個所に設けた折曲げ手段10A, 10Bを介して折曲げ可能に形成されている。すなわち、ペッサリー1となすための半円形の2個の弧状体2は図2に示すように断面ほぼ円形の適度な剛性を有する合成樹脂（あるいは金属の場合もある）とされ、弧状体2の各端部3は図1に示すように段差状に形成され、かつ端面4は止め軸7を中心とした曲面（図2, 図3の端面4の形状参照）に形成されていて、図1に示すように、各端部3は対向状に合致させ、止め軸7を押着することで折曲げ手段10A, 10Bとされている。そして、一方の折曲げ手段10Aには、ペッサリー1の折曲げ、すなわち弧状体2の一方の止め軸7における折曲げ

10

20

30

40

50

2

をロック及びロック解除する操作レバー11が設けられている。

【0007】 この操作レバー11及びこの関連部分は、図3～図6に示す構造よりなる。折曲げ手段10A部分における一方の弧状体2の端面（曲面）4は、操作レバー11の後述する係止部12に係合するよう、図5、図6に示すように、曲面形状が加工され、係合溝5と係止突起6が設けられている。折曲げ手段10Aに係わる他方の弧状体2の止め軸7側には、操作レバー11の装着凹部16が凹設されている。図5、図6に示すように、装着凹部16は止め軸7側に係止突起6の挿入凹部17が設けられ、かつ後部側は斜状の深溝18とされ、深溝18の一部は凹状のばね座18Aとされている。操作レバー11は前記係止溝5に係脱可能な鉤状の係止部12を先端に有しつつ後部内側に凹状のばね座11Aが設けられている。

【0008】 図5に示すように、操作レバー11は装着凹部16に納められ、両ばね座11A, 18A間に操作レバー11の後部の操作部位13を外方へ付勢するスプリング19が介装され、かつ係止部12が係止溝5に係合可能な状態で中央部において止め軸14にて装着凹部16の外側部位に軸支されている。操作レバー11は図5に示すように係止部12を係止溝5に係合させたロック状態が正規状態であり、この時のペッサリー1は図1の正規の形状をなす。図6に示すように、操作レバー11の操作部位13をスプリング19の付勢力に抗して押して係止部12を係止溝5より外したロック解除（図5の仮想線の係止部12の位置参照）とした場合は、両弧状体2を止め軸7を中心として係止部12が係止突起6に当接する位置まで曲げることができる（図8、図7の形状参照）。なお、図7の形状に曲げたペッサリー1を正規の形状に戻す場合は、両弧状体2を図1の円形状になるように曲げ戻せば、操作レバー11はスプリング19にて付勢されていることより、図6の状態から自動的に図5の正規の形状になし得る。

【0009】 しかして、本例の（正規形状の）ペッサリー1を使用する際は、操作レバー11の操作部位13を押し、両弧状体2を曲げてペッサリー1の幅を狭くした後（図7、図8の形状参照）、通常と同様に、治療者の外陰部より腹部に挿入し、腹内において正規形状に復元し子宮部分に配置して子宮脱の治療に用いることができる。本例のペッサリー1は幅を狭くした状態で外陰部を通過させて挿入し易い。また、外陰部通過後のペッサリー1は腹内にて簡単に正規の形状に戻すことが出来、正規の形状のペッサリー1にて子宮を支持するので、ペッサリー1の本来の機能は従来と同様になし得る。なお、正規の形状にしたペッサリー1は操作レバー11のロックによって折曲げ手段10Aがロックされているので治療中に折曲げることはない。子宮の支持に使用したペッサリー1を腹内より取外す場合は、適宜手段

3

にて操作レバー11の操作部位13を押し、折曲げ手段10Aのロックを解き、ペッサリー1を押し曲げて幅狭の状態で外陰部を通過させる。

【0010】操作レバー11の操作にてロック及びロック解除される、ペッサリー1の折曲げ手段10Aは、本例の構造のものに限定するものではなく、復元可能に折曲げ得る構造のものを広く採用することができる。

【0011】

【発明の効果】本発明は折曲げ手段を設けたペッサリーであり、折曲げて横方向の外径幅を小さくした状態において外陰部に挿入し得るので、痛みを少なくして容易に膣内へ挿入でき、膣内において元の環状に戻し、子宮に押付け状に配置して子宮脱の治療をなし得る。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明実施例のペッサリーの正面図。

【図2】図1のI—I—I—I線における断面図。

【図3】操作レバー部分の側面図。

4

【図4】操作レバー部分の正面図。

【図5】操作レバー部分の構造図。

【図6】操作レバーのロック解除状態図。

【図7】ペッサリーの折曲げ状態正面図。

【図8】ペッサリーの折曲げ状態平面図。

【符号の説明】

1 ペッサリー

2 弧状体

5 係止溝

6 係止突起

7, 14 止め軸

10A, 10B 折曲げ手段

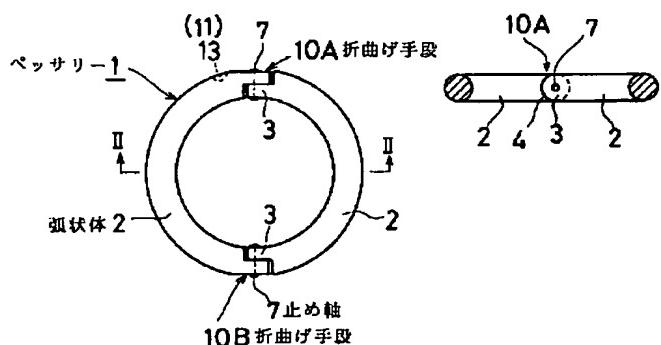
11 操作レバー

12 係止部

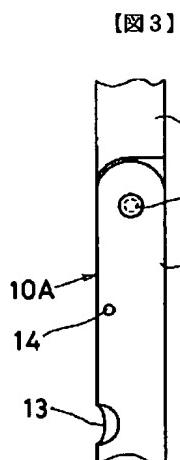
13 操作部位

19 スプリング

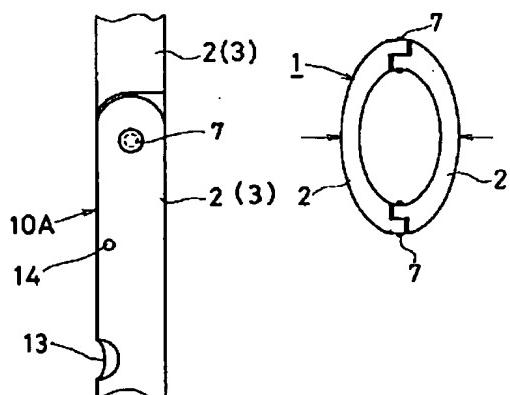
【図1】



【図2】



【図3】



【図7】

【図4】

【図5】

【図6】

【図8】

